



馬の如く力強く—— 登米市のさらなる飛躍に向けて

登米市議会議員
中澤 宏

市民の皆さまと共に駆ける 花開き実を結ぶ一年に



登米市長
熊谷 康信

市民の皆さまにおかれましては、すがすがしい新年を健やかに迎えのことと心より喜び申し上げます。2026年は十二支の中で「午年」となります。馬は古来より、勇ましく力強い動物として知られ、その自由奔放な走りや跳躍力は「発展」や「飛躍」の象徴とされてきました。速さと持久力を兼ね備え、遠くまで力強く進む馬の姿には、新しい挑戦に立ち向かい、希望の未来へ突き進む力強いメッセージが込められているように感じます。私たち登米市も、この午年を迎え、馬のように力強く未来を切り拓いていけるものと、強く信じております。

そして、昨年は本市にとって特別な意味を持つ一年となりました。平成17年4月に9つの町が合併し、登米市が誕生して以来、20周年という大きな節目を迎えました。これまでの歩みは、皆さまと共に築き上げてきたかけがえのない歴史であり、多くの困難を乗り越えながらも、確かな成長と発展を積み重ねてきた証しでもあります。この節目を経て、本市は新たな21年目へと歩み出しました。

また、昨年は市議会議員の改選が行われ、新しい顔ぶれで議会がスタートしました。より一層市民皆さまの声を反映し、市政を力強く前進

市民の皆さまにおかれましては、令和8年の幕開けを健やかに迎えのことと心より喜び申し上げます。午年の新春を迎え、胸が高鳴る思いではありますが、駿馬が大地を力強く駆け回るように、スピード感と持続力をもって市民の皆さまと共に、たづなを握り、市政を前進してまいりますので、本年もご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本市は、平成17年に誕生して以来、20周年の大きな節目を迎え、記念式典においては、多くの市民の皆さまにご参加いただき、盛会裏に終えることができました。この20年の歳月の中には、私たちの記憶に残る多くの出来事があり、東日本大震災をはじめ、新型コロナウイルス感染症の流行など未曾有の危機に直面することもありました。市民の皆さまのご支援とお力添えにより、この危機を乗り越えられてきたことに、改めて感謝とお礼を申し上げます。

さて、本市を取り巻く社会情勢は、人口減少・少子高齢化が一層進行し、令和6年の出生数が初めて300人を下回り、極めて深刻な局面を迎えております。加えて、物価高が続き、食品やエネルギー価格の上昇が、日々の暮らしに重い影を落としています。さらには、豪雨や猛暑、そして

昨年の2月の岩手県大船渡市の大規模山林火災をはじめ、自然災害が頻発する状況が続く、地域の安全・安心の確保が喫緊の課題となっております。こうした社会・経済・環境が著しく変化する中において、令和8年度から「第三次登米市総合計画」がスタートし、今後の10年を見据える極めて重要な年になると考えております。本市の将来像である「あふれる笑顔豊かな自然住みたいまち」とめの実現に向け、計画に掲げる各種施策を力強く推進してまいります。

厳しい社会情勢の中にあっても、私のモットーは「市民生活第一主義」です。市民皆さまの幸福や福祉を向上させることを第一に考え、多くの市民の皆さまの声を一つ一つしっかりと受け止め、さまざまなニーズや環境の変化に柔軟に対応しながら、課題の解決に向け真摯に取り組んでまいります。市民の皆さまと共に力を合わせ、心を寄せ合いながら、花開き実を結ぶ事業を展開し、本市をさらに盛り上げていく所存であります。

結びに、皆さまの市政へのご理解とご協力に心から感謝申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして、笑顔と希望に満ちた飛躍の年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

させる責任を感じております。議会では、市政の監視と政策提言の役割を果たすとともに、市民福祉の向上と持続可能なまちづくりのために、断続的な努力を続けてまいります。

現代社会は、少子高齢化や人口減少、社会情勢の変化への対応など、多くの課題に直面しています。特に若い世代が安心して生活し、子育てができる環境づくりは、まちの将来を支える重要なポイントです。今後も、教育の充実や福祉サービスの拡充、働きやすい環境整備を進めるとともに、新たな産業の創出や観光振興、地元企業の支援を推進し、地域経済を活性化していくことで、安心して未来を描ける基盤をつくり、市民一人一人が「ここで暮らしてよかった」と実感できる地域社会を目指します。

私たち馬の如く力強く、勇気を持って走り進む姿勢を示してまいりたいと思います。市民の皆さまの期待に応えられるよう、開かれた議会運営を目指し、皆さまの意見を尊重しながら地域の発展に向けて努力を惜しまずに職務を果たしていく所存です。

結びに、新年が市民の皆さまにとって健康で幸せに満ちた一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

昨年2月の岩手県大船渡市の大規模山林火災をはじめ、自然災害が頻発する状況が続く、地域の安全・安心の確保が喫緊の課題となっております。こうした社会・経済・環境が著しく変化する中において、令和8年度から「第三次登米市総合計画」がスタートし、今後の10年を見据える極めて重要な年になると考えております。本市の将来像である「あふれる笑顔豊かな自然住みたいまち」とめの実現に向け、計画に掲げる各種施策を力強く推進してまいります。

厳しい社会情勢の中にあっても、私のモットーは「市民生活第一主義」です。市民皆さまの幸福や福祉を向上させることを第一に考え、多くの市民の皆さまの声を一つ一つしっかりと受け止め、さまざまなニーズや環境の変化に柔軟に対応しながら、課題の解決に向け真摯に取り組んでまいります。市民の皆さまと共に力を合わせ、心を寄せ合いながら、花開き実を結ぶ事業を展開し、本市をさらに盛り上げていく所存であります。

結びに、皆さまの市政へのご理解とご協力に心から感謝申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして、笑顔と希望に満ちた飛躍の年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。



HAPPY
NEW
YEAR

2026